公認会計士法友会

公認会計士法友会会報

第31号

令和4年1月発行

令和3年度公認会計試験合格祝賀会に関するお知らせ

例年、1月に公認会計士試験合格祝賀会を開催しておりますが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、法政大学と協議した結果、参加人数を限定（合格者と一部の来賓の方、運営スタッフ数名）して開催することといたしました。

目次

会長挨拶 2
雑感 4
会費等納入の御礼 5
令和2年度公認会計士試験合格者の近況 6
法政大学校友会の活動状況について 7
編集後記 8

同封物：会報、郵便口座振替用紙

会長挨拶

会長　太田荘一（昭和52年卒）

公認会計士法友会の会員の皆様、新年のご祝詞を申し上げます。各位の各業界分野でのご活躍をお慶び申し上げます。

一昨年、昨年とコロナ禍で終始した大変な年が続きましたが、皆様にはお変わりございませんでしたでしょうか。2022年が皆様にとりまして明るく輝かしい年でありますことを祈念申し上げます。

会員の皆様には、いつも多大なるご支援とご賛同をいただき、誠にありがとうございます。この2年は、定期総会等の行事は中止せざるを得ない状況にもかかわらず、郵便振替や銀行振込により、毎年貴重な浄財をご寄附いただいている会員の皆様方には、誠に感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを更に高めることができていますのも、会員の皆様方のご尽力とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして深く感謝申し上げます。

現役員体制で7年目となりましたが、法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめとする役員の方々の精力的なご対応とご協力を受けながら、なんとか務めさせていただいております。まだ当面は、変異ウイルス感染再拡大防止のため、会員の皆様との対面での懇親の場を設けることができませんが、オンライン会議等での役員会活動は継続しており、今後は、オンラインによる研修等も企画していきたいと考えておりますので、引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

今回も、最近の法友会活動についてのご報告を中心に、今後の活動方針を述べさせていただきたいと思います。

【『法政大学校友会』の活動への参画と協力について】

先般より皆様方には、一般社団法人「法政大学校友会」の終身正会員の追加登録にご賛同ご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様方からの多大なるご寄附、御芳志に厚く御礼申し上げます。

おかげさまをもちまして、公認会計士法友会からの終身正会員数は、今年度の追加登録により、目標である120名を達成することができました。そこで、「法政大学校友会」の代表議員（終身正会員40名に1名の割合で選出）を既選出の2名（川崎定昭会員、小野隆良会員）に加えて、1名を追加（補充）選出することなり、公認会計士法友会としましては、酒井宏暢会員（昭和57年卒）を候補者として推薦し、会員の皆様方のご承認により、正式に代表議員として選出されました。

『法政大学校友会』は、法政大学の発展に寄与することを目的に、「法政のネットワーク創り」と「全ての世代が集い繋がる」、校友が一体となった活力ある組織を形成し、母校・卒業生・社会への貢献を目指して活動しております。（校友会の活動報告の詳細については、後掲の飯塚会員からの記事「校友会の活動状況について」をご参照ください。）

今回、2013年度以降卒業の若手会員（校友会の各年度卒業生同期会会員）におかれましては、パートナー組織（公認会計士法友会へ）の所属変更手続きにご協力をいただきました。厚く感謝申し上げます。

（なお、引き続き、毎年該当する年度卒業の若手会員諸氏にはおかれましては、速やかに下記の法友会HPにアクセスして、公認会計士法友会への所属変更手続きをお願いいたします。https://www.hoseinet.or.jp/nendo_doukikai/）

校友会の三大行事の一つである「全国卒業生の集い」栃木大会は、コロナ禍で2年続けて中止（来年度に再延期）となりましたが、来年度は、既に開催日程（2022年10月22日式典）まで決定しておりますので、会員の皆様には是非とも奮ってご参加いただければと思います。

また、新年の恒例行事である「2022年オール法政新年を祝う会」は、今年もホテルでの懇親会の代替企画としてオンライン開催（2022年1月30日（日））が予定されております。会員の皆様におかれましては是非ともオンライン登録参加され、大いに法政OB・OGの校友の連携を図ろうではありませんか！！

【会員寄付の拡充と本学受験生への「奨学支援金」について】

法友会として、今後、特に注力していきたい活動といたしましては、会員の皆様からのご寄付浄財をいかにして拡充していくかという課題に対する対応です。

法友会活動は会員の皆様からの会費・寄付金の浄財により成り立っています。昨今、会員の高齢化とご寄付賛助者数の減少により、当会の財政収入にも少なからず影響が出ております。

一方、活動の範囲はますます拡大しており、特に、5年前に創設し給付を継続しております本学学生に対する公認会計士試験受験のための「奨学支援金制度」につきましては、嬉しいことに、その成果が年々目に見えて来ております。

【法友会「奨学支援金」制度の概要と実績】

・給付資格：毎年11月の学内簿記チャンピオン大会成績優秀者に受給資格証を付与し、短答式受験を条件に使途を専門学校の受講費充当に限定して5万円を給付するもの。

・給付実績

2017年度5名、2018年度5名、2019年度3名、2020年度7名

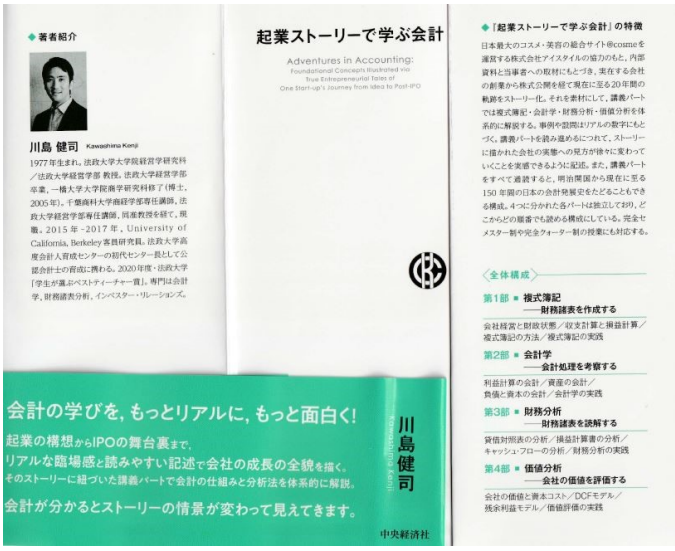
・受給者の合格実績
2019年論文式合格4名（2017年度受給者）
2020年論文式合格2名（2018年度受給者）
ということで、受給した学生の合格率は非常に高い結果が出ています。
今年度も表彰式と懇親会は中止されましたが、成績優秀者7名には、受給資格証を郵送で授与するとともに、私のほうから、受験生に激励のビデオメッセージを送らせていただき、学内ネットワークで公開されました。
法友会としては、これを継続し、さらに充実したものにしていきたいと考えております。このための原資として会員の皆様方からのご寄付浄財が不可欠でありますので、なにとぞご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【最後に】
2021年度の公認会計士試験（論文式）は、通常どおり8月にて実施されました。コロナ禍中、感染防止対策をしながらの受験生は相当大変なものであったと思います。本学出身者から例年どおりの多くの合格者が輩出されることを期待していますが、先般、合格発表があり、現在、確定情報の収集中でありますが、昨年度は、コロナ禍の最中であったため、集合対面での開催は困難と判断し、合格者に対しては、合格お祝い品の郵送と田中優子前法政大学総長からのビデオメッセージ動画でお祝いさせていただきましたが、本年度については、なんとしても祝賀会を開催し、合格者全員に対して集合対面での合格をお祝いする機会を準備しております。しかしながら、大学内会場での感染防止のための参加人数の制限等により、法友会会員諸氏には集合対面でのご参加は見合わせていただき、リアルオンラインでご参加いただくことなりますこと、なにとぞご理解のほどお願いいたします。
その際には是非とも多数の会員の皆様のオンラインご参加により、合格者の門出をお祝いし、激励していただくことを期待いたします。
コロナ禍で会計士業界もこの2年は対応が厳しい状況でありましたが、この逆境を好機にして、法政大学からさらに多くの公認会計士を輩出し、将来のある若い皆さんが活き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。
しばらく校歌を唱っておりませんが、今年はぜひともみんなで斉唱したいと思います。

「フレー！！フレー！！法政、 ガンバレ！！ガンバレ！！皆さん」

書評（新刊書紹介）
『起業ストーリーで学ぶ会計』
法政大学教授 川島健司 著 中央経済社

寄附講座ワークショップでお世話になっております本学教授の川島先生が、このたび本書を出版され、当会に数冊の献本をいただきました。
失礼を承知の上で正直に言いますと、最初にご書名とご執筆のお話をお聞きした際には1日で読める新書版のイメージをもっていましたが、手に取ってみて、それはとんでもない思い違いであることがわかりました。
これは、簿記会計の立派な専門書です。それも私が知る限り今までにはない新しい手法で、実際に行われた起業ストーリーに基づいて、複式簿記の理論から財務諸表論、更に経営学理論を融合させた画期的なものであり、学生はもちろんのこと、私のような実務家にも非常に興味深く読むことができる、それも1ページから毎日少しずつ読みたくなる本です。
私（たち）が学んだ簿記の教科書は「A商店が商品をB商店へ掛けで売り上げた。」という無味乾燥な取引例を借方と貸方に仕訳することから始まるのですが、本書では、実際の会社で起きたストーリーの取引事実について「左右の空間を使って記録をとる」といった具合です。ほかにも会計の既成概念を理論的に、文理融合の時代の学生にもわかりやすく解説されているところが数多くあり、我々会計士には探究心を擽ることばかりです。皆さんも是非、お手にとってみてください。



雑感

山田　努(昭和59年卒)

2021年を振り返って

昨年からのコロナ影響が続き公認会計士法友会・法政士業の会・校友会活動がほとんどできない一年であった。記事にできる目立った活動がないため会報に書くこともない中で寄稿依頼を受けたので恒例の法政関係のスポーツ記事で2021年を振り返る。

（東京六大学野球）

今年は法政が当番校であり部長の神谷先生が東京六大学野球連盟理事長も兼務されていたが、春・秋ともに神谷先生から三浦主将に天皇杯を授与してもらうことは叶わなかった。しかしながら、選手寮でコロナクラスター発生50人感染し8月20日から一か月以上活動停止となり9月11日開幕予定の秋季リーグ戦出場は絶望的という状況でも、他の5大学のみなさまからの温かいご理解により開幕直前に大幅な日程変更していただき法政の試合は10月に集中開催という異例の変則日程で伝統のリーグ戦に出場できたことは感謝の気持ちに堪えない出来事であった。

（東京オリンピック）

法政関係者の出場可能性が一番高いと先読みしてフェンシングのチケットを確保して楽しみにしていたので無観客は残念であったが、エペ男子団体の見延選手の金メダルには歓喜した。団体戦では試合出場機会こそ少なかったが彼のリーダーシップは抜群でありチームをまとめて金メダル獲得の立役者となった。また、フルーレの敷根君は個人・団体ともに3位決定戦に進出しあと少しで銅メダルという大健闘し、まだ若いのでパリでの活躍を期待している。箱根駅伝で応援していた山の神としてお馴染みの青木君（3000mSC）とどこを走っていてもひときわ目立つ長身の坂東君（5000m）が揃ってオリンピックに出場したこともうれしいニュースであった。

（箱根駅伝 ― 2021年1月）

1区のハイペースについていけず出遅れて終わった前年の苦い経験から今年はエース鎌田君を1区に配置して他校の高速ランナーに離されずについていく作戦であったが、予想に反し近年稀に見る超スローペース。蒲田を過ぎても誰も仕掛けずけん制し合う展開が続いたが六郷橋を渡ったところで鎌田君が満を持してスパート。一騎打ちとなった東海大を残り1kmで振り切り5秒差をつけて見事に鶴見中継所トップで襷リレー。法政が1区で区間賞は21年ぶり徳本以来の快挙！あのとき大手町スタート直後からぶっちぎった茶髪にサングラスの徳本はカッコよかったなぁ。ちなみにそのときは2区も坪田が区間賞。この会報が発行される頃には結果は出ていますが2022年の箱根駅伝は法政（坪田監督）だけでなく駿河台大学（徳本監督）にも注目したい。

と2021年の雑感を書いてきたが、ここで1つ新コーナーを立ち上げたいと思います。

職場紹介シリーズ（第1回）　－日本公認会計士協会－

会計士協会は法政大学市ヶ谷キャンパスのすぐ近くにあります。特に一口坂校舎（ショップ）は協会から徒歩1分で、法政グッズを記念に購入したりスポ法（新聞）をゲットできるので協会に来会の折には立ち寄られてみてはいかがでしょうか。今号では職場紹介シリーズ第1回として会計士協会の活動と協会事務局スタッフの一部を紹介する。

会計士協会は公認会計士監査に対する社会からの信頼を維持向上するための自主規制組織です。協会と聞いてみなさまま思い浮かぶのは小倉加奈子さん（1988年卒）でしょうか。小倉さんは本部副会長として公認会計士のメイン業務である「監査・会計」を管掌するとともに、会計監査の在り方に関する懇談会メンバーや企業会計基準委員会（ASBJ）委員としてご活躍され、ASBJ実務対応、監基報、ISQM対応など会計士の実務に大きな影響を与える事柄に深く携わられています。

また、小倉さん以外にも多くの法政大学OB/OGが日本公認会計士会計士協会の地域会や本部委員会の活動に参画しています。現在の本部役員としては堤研一さん（2022年7月から東北会会長就任予定、1980年卒）、太田眞晴さん（神奈川県会会長、1981年卒）がいます。

会計士協会事務局スタッフの法政大学OB/OG

・川口宗夫（品質管理グループ出向、公認会計士講座室長（1985年度）、1988年卒、EY新日本有限責任監査法人シニアパートナー）
協会出向時に「お前、監査の品質なんてガラにもねぇ話するな」と諸先輩方から励ましを頂戴しましたが、この3年間でキャリアを積んだニュー川口にご期待ください。

・萩原眞治（品質管理グループ出向、1992年卒、アーク有限責任監査法人社員）
山田さんが紙幅を取りすぎたせいで私の自己紹介できず残念。法政の会計士に萩原ありと言われるようにがんばります！

・城取洋美（監査・規律審査グループ、1995年卒）
毎年発行している監査提言集、2021年版は法政カラー（オレンジ）です！　みなさんの監査業務にきっと役立ちますからしっかり読んでくださいね。

・山田努（品質管理グループ）
みんな、この企画（山田の道楽）に付き合ってくれてありがとうね。

一口坂ショップにて
えこぴょん抱いてご機嫌の川口と、
山下君のヤクルト1位指名を報じる
スポ法を持つ山田

協会で待ってるぜby萩原

協会も女性活躍が進んでます。小倉さん（左）と城取さん（右）と机の上にさりげなくえこぴょんと監査提言集

一人で会報に掲載されるのは負担感がある人も多いかと思いますが、グループでなら会報に載ってもいいと感じる人もいるかと思い企画しましたので、シリーズ第2回を続けてくれる人達が現れることを願っています。

会費等納入の御礼

令和3年度（2021年12月10日まで）に会費・寄付を頂いた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

（50音順、敬称略）

青谷　貴典	飯塚　昇	石川　亜依	石川　正敏	石出　康子	伊藤　章子	太田　荘一
太田　眞晴	奥　朋	小野　隆良	尾町　雅文	金子　祐大	河合　三彦	河西　正之
川端　稔	北村　敏雄	君和田　和子	桑原　正信	神田　忠二郎	小林　保弘	酒井　宏暢
佐藤　康平	佐藤　志郎	島田　幸樹	杉本　喜代美	鈴木　和郎	鈴木　一功	高木　淳
竹部　直一郎	竹村　謙一	舘内　宏宣	丹沢　祐介	堤　研一	東海林　寛史	遠山　景一
豊島　忠夫	中村　幸信	中山　理恵子	那須　玄	西澤　利雄	野村　浩子	春山　直輝
藤田　利弘	藤原　明	細越　善次郎	本間　寛	前田　大輔	松岡　範博	安井　洸治
矢田堀　浩明	矢野　冬也	矢部　豊	吉川　清司	吉田　実貴人	和食　克雄	

校友会終身会員新規登録者（所属変更を含む）

令和3年7月以降に新たに校友会終身会員に登録（年度同期会からの所属変更を含む）していただいた方は、以下の通りです。どうもありがとうございました。

（50音順、敬称略）

古賀　宗一郎	齋藤　雅人	佐藤　直	佐藤　祐己	舘内　宏宣	槇　和樹	山﨑　健吾

令和2年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を自ら報告していただくコーナーです。

●佐藤康平（平成28年卒）

・ご挨拶

法友会の皆様、はじめまして。令和2年度公認会計士試験に合格した佐藤康平と申します。日々ご活躍されている先輩方がご在籍する公認会計士法友会に参加させていただきましたこと、大変光栄に存じます。会員の一人として活躍できるよう研鑽を重ねてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

・経歴

私は2016年3月に社会学部社会学科を卒業いたしました。学生時代は奥武則（現名誉教授）ゼミナールに所属しジャーナリズムを中心に学習を、サークル活動においてはスポーツ法政新聞会（以下、スポホウ）に所属し活動を行っておりました。特に後者の活動は大学時代の熱量の大半を費やしたといっても過言ではございません。

皆様も、各キャンパスにて新聞を配っている集団を見かけたことがあるのではないでしょうか。私は彼らの一人として活動し、最終学年には編集長も務めておりました。スポーツ法政新聞会は法大の体育会部活動を取材し、WEBでの速報・新聞『スポホウ』の発行を行う団体です。サッカー部が大阪での全国大会に参加すれば1週間現地に滞在し、箱根駅伝の際には始発で大手町に向かい、スタート写真を撮影すべく場所取りをしておりました。時間も費用も振り返りたくないくらい必要でしたが、情報不足である大学スポーツ界において必要不可欠な媒体と自負しており、充実した活動を行っておりました。

さて、お気づきかと思われますが、私の学生時代には＜公認会計士＞の5文字どころか、国家資格取得という考えも一切ございませんでした。勉強を始めたのは、新卒で就職した横浜銀行を退職したタイミングです。銀行時代に知ったビジネスの面白さを感じつつ、自らの人生を自らの力で切り開くための方法として出会ったのがこの資格でした。その後、約3年の勉強期間の末、運よく皆様の後輩となることができました。

・近況について

現在は有限責任監査法人トーマツの東京事務所にて、IT企業の監査をメインに業務に従事しております。令和2年試験はCOVID-19の影響により試験が延期し、合格発表も2月に行われたため、入社は3月の中旬、現場配属は4月という変則的な日程でございました。

入社から約9か月が経過しましたが、現在も日々追いつくことで精一杯です。現場においても、補習所においても、それ以外の自己研鑽の場においても学ぶことの連続です。決して楽な日々ではございませんが、学びが自身の血となり肉となる職種だと思っておりますので、一日一日を大切に成長したいと考えております。

・プライベートについて

最近の休日はもっぱらテレビでスポーツ観戦をしています。サッカー・アメフト・野球・競馬etc・・・、左記に限らず何かしらのスポーツがテレビに映っております。高校生まで自身もプレーしていたサッカーは特にJリーグが好きで、地元の横浜F・マリノスはファンクラブにも加入しております。色々なスポーツを楽しんでおりますが、ここ数年で見始めたのが競馬です。ギャンブルとしての側面は強くありますが、背景にある様々なストーリーは奥深く、知れば知るほど楽しさが増していきます。最近では派生して馬と人との関りにも強く興味を持っております。当面の目標は、受験生時代に知識と共に増えていった体重を減らし、乗馬・馬術を始めたいなと思っております。（写真は横浜市にある馬の博物館にいた野間馬のミカンくん（左）とミニチュアホースのエミちゃんです）

昨今はなかなか難しいですが、国内旅行もよく行っておりました。特に五島列島は大学時代に初めて赴いてから（縁もゆかりもないのに）4度行っております。日本一の砂浜と呼ばれる高浜海水浴場、世界遺産認定された潜伏キリシタンの歴史、そしてなにより日本随一の海の幸。非常に魅力的な場所です。島の方々も暖かく、初めて行った際に知り合った観光協会の方（写真右）とは以降も交流があり、私の会計士合格を祝福してくれた友人（というには大分先輩ですが・・・）の一人です。気兼ねなく旅行に行ける日が戻ってくることを切に願うばかりです。

・おわりに

このようなご報告の機会を頂きましてありがとうございました。私は大学卒業時より、「関わる方々の幸せに貢献する」ということを自身の目標としております。公認会計士として如何にこの目標を達成できるか、これからの人生を歩む中で考えていきたいと思います。

寒さが厳しくなる季節ではございますが、法友会の皆様・ご家族におかれましてはくれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。最後に、皆様と直接お会いできる日が来ることを祈念し、私のご報告とさせて頂きます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

一般社団法人法政大学校友会の活動状況について

飯塚　昇(昭和49年卒)

私は、令和2年度より、矢部　豊先輩（昭和40年卒）後を受けて監事をとなりましたが、新型コロナウィルス感染症で校友会活動も大きな影響を受け、監事として出席する理事会等には実出席ができない時期もあり、ハイブリッド方式の理事会等にもウェブでの出席がほとんどとなっております。

校友会活動の三大イベントであるオール法政ゴルフ大会『総長杯』、法政大学全国卒業生の集い、オール法政新年を祝う会については、令和2年度も令和3年度もすべてが中止となってしまいました。

しかし、すべての世代・地域がつながるオール法政のネットワークの構築を目指している校友会は、デジタル基盤の整備に力を注いだ1～2年でもあり、さらに、校友会会員のためのいろいろな取り組みを行っているところです。

1. ホームページの全面リニューアル
2. WEB決済機能の追加
3. 校友会アプリ・電子会員証のリリース
4. オレンジMAP
5. 優待サービスの提供

＜詳細については校友会ホームページ https://hoseinet.or.jp/ をご覧になってください。＞

さて、令和3年1月、箱根駅伝・法政応援チャンネルで、テレビで観戦しながらネットで応援された方、同じく1月のオンライン版「オール法政新年を祝う会」を視聴され、「すべての世代・地域がつながるオール法政」を実感された方も多かったと思います。令和4年1月にも同様の企画が実施されますので、是非、ご視聴ください。

令和3年11月現在、法友会の校友会終身会員登録数は124名、年度同期会、地域校友会、学校関係の校友会を除くと、法政財界人倶楽部301名、応援団OBOG会150名、法政剛柔会136名に続き、法友会のプレゼンスはとても高いものがあります。

各年度の公認会計士試験合格者の方に『年度同期会』から法友会に所属変更をお願いするとともに、既卒の公認会計士の方々に、終身会員登録をお願いして、順次、登録数を増やしていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

公認会計士法友会

公認会計士法友会事務局
〒169-0074
東京都新宿区北新宿4-19-15

E-mail：hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

12月末現在の会員数 766名

ホームページもご覧下さい。
http://hoyukai.la.coocan.jp/

編集後記

2021年度の公認会計士試験の合格発表が11月19日に行われ、12月23日の時点で合計15名の方が合格しました。この号がお手元に届くころには、追加の合格者の人数が判明していると思います。

また、年始の箱根駅伝では、シード権争いが熾烈でしたね（テレビには、いつも以上に映っていたような気がします）。10区で抜いた時には、うれしかったですね。箱根駅伝・法政応援チャンネルでも、急激に視聴者数が伸びて、喜びのコメントがあふれていました。来年は、沿道で応援したいですね。

今後のイベント予定
皆さん、ご予定ください。
・公認会計士試験合格祝賀会　令和4年（2022年）1月29日（土）：オンライン
・オール法政新年を祝う会　令和4年（2022年）1月30日（日）：オンライン

令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大学会計士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様の、ご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意にお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円（一口）だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座にお願いいたします。

銀行口座　三菱UFJ銀行　東中野支店(店番152)
普通預金・口座番号　1559256　口座名・公認会計士法友会
＜連絡先＞　〒169-0074　東京都新宿区北新宿４－１９－１５　正和ハイツ
公認会計士法友会事務局
080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い
会計大学院（イノベーション・マネジメント研究科アカウンティング専攻）の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思いますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。